

タウンミーティング記録 想いをこめて 未来につなぐ

日 時 令和 8 年 7 月 5 日(日) 午後 2 時～3 時 30 分
場 所 苗間会館(苗間東町会)
参加者 22 人



主な意見等

参加者 ふじみ野市が市民のためにこのような活動をされていることを改めて知ることができ、すごく良い時間になりました。

私の娘が東原小学校に通っております。その中で疑問に思っていることがあり参加させていただきました。

ふじみ野市内の小中学校で本格的に始まった ICT 教育について伺います。今年度から ICT 化によって、ドリルの廃止やテストが Web 化され、教科書ではなくパソコンによる授業の時間がかなり増えました。ICT 化によって良い部分もあると思いますが、それと同時に大きな懸念を感じております。世界的には ICT 教育による学力低下が叫ばれ紙媒体に戻っている国もあります。日本は ICT 教育を推進していますが、現時点では市区町村の判断で ICT の利用を選択できる段階にあると思いますが、ふじみ野市は何故 ICT 教育を強く推進しているのか疑問に思っています。

私自身、ICT 自体を反対しているのではなく、紙媒体で残していくものパソコンなどの新しい技術を利用して変わっていくものなど、ハイブリットな教育を目指すという柔軟な対応をお願いしたいと思います。個人的なことです、娘は目を手術しており再発する恐れがあると医者から言われています。活字を見るにも焦点を合わせるのに人

より目の筋肉を使い、それがパソコンになるとやはり負荷がかかります。視力の低下だったり、姿勢の悪さなど成長していく子ども達の体への影響など不安に思っています。

市長 私自身も個人的には ICT 教育はメリット、デメリットがあると考えております。キーボードを早く打てる子もいればそうでない子もいますし、お話のように画面を見るという行為に負荷がかかる子もいるかと思しますので、状況に合った対応を取ることが重要だと思います。

タブレットを利用する頻度も増えてきています。現在も配慮は行っているかと思いますが、いただきました意見を教育長にも伝え、周りの子たちから偏見を持たれないような形で対応を行えればと思います。

参加者 ドリルに関して、担任の先生、学年主任に伺っても教育委員会が決めていることなのでという回答しかありません。教育委員会と学校、保護者の3つの柱で子供たちの教育を支え、見守っていくような取り組みがないように感じております。どうしても教育委員会がという言葉が返ってきてしまうので、今日、直接市長にお話しする機会がありましたので話させていただきました。

市長 タブレットを使い始めたことで、保護者の皆様から納めていただいている教材費を少しでも低下させようとしています。紙媒体を併用することができるか調べさせていただき、何らかの配慮ができないか教育長に伝えたいと思います。

参加者 東京都北区の小学校で火災がありました。学校では毎月1回避難訓練を計画して、教育課程の届出に記載して教育委員会がチェックしているかと思いますが、ふじみ野市の指針やガイドラインがありましたら教えていただけないでしょうか。

市長 北区の学校火災につきましては、子ども達がいる間に学校であの規模の火災が起きたというのは、今まで例がなかったと思います。

ご質問いただいた訓練の指針は手元にありませんが、地震が起きれば身の安全を確保し、揺れが収まったら上層階から下階に下りてくるのが基本の流れかと思います。火災時には学校の校舎も2方向出口が確保されておりますので、火や煙が流れてくるのを先生が判断しながら、子どもたちを誘導するのが基本かと思います。教育委員会も北区の関係で見直しを行っているかと思いますが、貴重なテーマとして教

育委員会に確認させていただきます。

参加者 上沢勝瀬通り線を数年前に整備していただき、相互通行の素晴らしい道となりました。その際の説明会で地域の住民から意見がありましたが、数年経ってみてクレームの意見はありません。

また、この道路にはふじみん号の停留所があるのですが、縁石があることから、縁石に一度足を乗せてからバスのステップに上がる必要がありましたが、道路課に相談したところバス乗り場前の縁石を切っていただき乗降がしやすくなりました。

また、去年のタウンミーティングで大井陸橋の下の雑草が伸びており、フェンスで囲まれていることから外から抜くことができず地域住民からのクレームがあったことから、道路課に相談したところすぐに対応していただき、他にも通学路にある U 字溝の蓋が何箇所か取れているところがあり、市役所に相談したところ全て塞いでいただきました。対応に感謝しております。

しかし、残念なところが 1 点あります。空家対策について意見を伝えさせていただければと思います。私の家の前の家が空家になっており、家庭菜園として使っていたところに草がかなり生えています。市役所に連絡をさせていただき、現地を確認していただきましたが、目に見える対応を行っていただけていない気がします。何か良い方法があれば検討していただければと思います。

市長 お褒めの言葉をいただき職員たちも感謝したいと思います。空家対策でございますが、空家と思われるものが 900 軒ございます。管理がなされていないものになるともう少し少なくなると思います。

空家対策については、全国的な問題であり、国では「空家等対策の推進に関する特別措置法」という法律を制定し、市でも空家等対策の推進に関する条例を制定し進めてきたところです。

国の法律では管理ができていないものについて「特定空家等」という定義がありますが、「特定空家等」に認定するにはハードルが高かったことから、法改正がされ「管理不全空家等」という定義ができました。ふじみ野市では空家等対策協議会を設置し、管理不全のものについては連絡し、入間東部シルバー人材センターを紹介して草むしりを行ったりしていますが、連絡が取れないケースや相続放棄しているものもあり対応に時間が掛かることがあります。今の手続き状況など何らかの連絡を一報入れるようにすれば、安心していただけるのでは

ないかと思います。

法改正により行政代執行がやりやすくなりました。また裁判所に相続財産清算人を立ててもらい処分して国庫に入るなど法的にできる限りのことを尽くしてまいりたいと思います。

地域から情報をいただいたら、時間が掛かっていることや改善に向けて手続きを始めたなどお伝えできればと思いますので、今日のアドバイスを担当に伝えてまいります。

参加者 東台小学校が東原小学校に合併され一年が経過して大井中学校区として東原小学校、東台小学校が連携を取ることで、いじめの問題などが少しずつ解消していると感じています。大井中学校区の生徒は日頃から挨拶ができ、挨拶で繋がることができています。地域、生徒、保護者、学校の方に良いふるさとづくりになればと、私は学校運営協議会で頑張っております。

昨年もお伝えさせていただいたのですが、ふじみ野市で「挨拶の日」を作っていただけると人々がつながっていくのではないかと思います。

また、先ほど後期高齢者の医療費が2倍になっているとお話がありましたが、国が断熱への補助を行っています。数年ぶりですが、埼玉県も金額は少ないものの、断熱の窓に関する補助金が出るようになりました。ふじみ野市は耐震対策として、耐震診断や省エネ機器に対する補助金がありますが、医療費を減らす、自宅で長く住んでもらうために必要なのは、家の環境を良くすることではないでしょうか。なかなか予算化は難しいかとは思いますが、断熱工事に対する補助を行うことで、寿命が延び病院に行くことが減ることで、医療費の削減にもつながるかと思います。

市長 午前中のタウンミーティングで移動手段のサポートの提案をいただきました。ふじみん号は限られた台数で色々なところを回ることから時間が掛かってしまいましたが、例えば文化祭の時期だけでもステラ・ウェスト、イースト間を行き来する移動手段ができれば反対のエリアにいる人たちも行くことができ、文化活動に参加することで心が満たされ、健康につながるかと思います。

これだけ暑い気候になってきています。子どもであれば場合によって適応できる体を作っていくことも大事だと思いますが、年齢を重ねた方々の中には順応するのが難しい方もいらっしゃると思います。環

境やエネルギーコストが上がっていることから、断熱や遮熱することでコストを落とすことができ、その浮いた分で生活の豊かさを作るための活動をしていくことができるので、健康づくりの一環として非常に効果があると思います。

議会でも公共施設や学校等でエアコンの設置を行っていることから、遮熱を行う提案をいただいております。市民に対して助成ができないか、公共施設でコストダウンした分を市民に還元できれば相乗効果が生まれるかと思います。

参加者 先ほどドローンの映像を見て、ふじみ野市も密集した住宅が増えてきた印象を受けました。昨年、苗間地区を準防火地域にする話がありましたので、提案をさせていただければと思います。

準防火地域の目的は延焼を抑えることです。事例として、昨年の1月18日に大分県で大規模火災があり18棟が延焼しました。地震でも火災は起きます。能登半島地震で火災が発生し、240棟が燃えました。準防火地域というのはある程度安心につながると思います。

苗間地区で準防火地域を進めるに当たり、延焼ラインを強化するという考えがあるのではないかと思います。実際に大阪府堺市では既存の木造住宅に対して、延焼抑制するという目的に補助を行うことで市民が魅力を感じており、既存の住宅でも準防火地域に対応したものに変われると思いますので、検討していただければと思います。

また、準防火地域において建て替えしたときに建ぺい率を10%増えると家の資産価値も向上するかと思います。「火災に強いまちづくり」というスローガンも一つ検討していただければと思います。

市長 大井苗間地区の土地区画整理についてアンケートを取り、都市計画決定を解除するには地区計画の策定を進め、その中でこのエリアに準防火地域の指定をしていくという説明をさせていただいたかと思います。

準防火地域に指定されると既存住宅をすぐに防火措置しなければならないということではありませんが、地域の方々と色々意見を交換して進めていくことになると思います。今日いただいたご提案は担当に伝えさせていただきます。

参加者 神社の井戸からポタポタ音がして気になっています。年数が過ぎるとどうなるかわからないことから、市で調査していただけないでしょうか。

市 長 基本的には行政で管理しているものであれば対応することができ
ますが、神社で所有しているものは申し訳ありませんが、対応が難し
いかと思います。担当課には伝えさせていただきますが、業者を紹介
するなどの対応になると思います。

参加者 苗間会館のテーブルは古く、若いときは1人で運べましたが今は2
人で行っています。新しい施設はレバーを引けば畳まれて片付けがで
きるようなテーブルに入れ替えていると聞きました。高齢者が使うこ
とが多いので、椅子も含めて新しいものとは言いませんが、腰に負担
が掛からないものを備えていただければと思います。

市 長 町会の備品になるかと思いますが、自治組織の補助金の中で対応
をしていただけないでしょうか。2年間に分けて入れ替えていただく
などの方法を考えていただき、負担が掛からない範囲で備品を導入し
ていただければと思います。

参加者 大井苗間区画整理組合の事務所について聞かせていただければと
思います。私も役員でしたが、18年前に市に移管され、現在は市が
うれし野まちづくり会館として管理しています。建物は3階建てで立
派ですが、活用されているように見えません。半地下の駐車場も6～
7台しか停められません。

建ててから30年近く経っていることからメンテナンスも大変で
はないかと思います。

今度、この建物についてどのように対応されるのか意見をいただ
ければと思います。

市 長 地域から声が出てくることは非常に大切だと思います。うれし野
まちづくり会館については、区画整理事業の中で組合の事務所として建
てられた建物でございます。先祖代々の土地を減歩して区画整理を行
った熱い思いが詰まった建てたものです。

建物は確かに立派なものですが、3階建てなのにエレベータはな
く、埼玉県福祉のまちづくり条例に適合していません。そのような
こともあり、利用者が少なく、若い方でも階段で上がっていくのは大
変と言う声も聞きます。長年にわたり私も何とかしたいと思っていま
したが、毎年600～700万円の維持管理費が掛かっています。ま
た、エアコンの不具合が生じており、整備するには800万、900
万円掛かると言われました。

2月ごろから、私が一軒一軒当時の組合の理事、監事、総代のとこ

ろに説明に伺いお話ししましたところ、「そういう状態だったらしょうがない」という話をいただき、説明で同席された奥様から「一度も使ったことがない」「みんなあそこは不便だと言って使わない」という話を伺いました。お話しした全ての方から、「もうしょうがないだろう、市でそれだけお金が掛かってしまうのであれば、手放してもいいのではないか」という話をいただき、周辺の町会長、西地域の町会長にも話をさせていただき、手放していこうという方針になりました。

机が使いづらいという声のほか、赤土原会館では夏が暑いという声も聞きました。冒頭でお話ししましたとおり社会保障費はどんどん上がり、財政的な恩恵が使えたおかげで公共施設の整備を進めることができました。今後はコストを下げることを念頭に、何かの記念で作った施設であっても、その方々にご理解をいただいて後世にまで維持管理費を引きずるのではなく、思い切って決断しなければならない時期に来ていると思います。

参加者 役員の家々に回っていただき、ありがとうございます。

相談役の中には健在の方もおられますが、理事は何人も亡くなっています。実は私もあそこを利用する気になりません。私は、廃止の決断自体、やぶさかではありませんが、建物の入口にあるモニュメントだけは当時の役員全員の名前が刻まれていますので、区域内の公園などに移設していただきたいと思います。

市長 当時の区画整理の記念館として建てられた建物であり、当時の思いが込められていることから、モニュメントについては近くにある親水公園やリズムタワーの公園などの区画整理のエリア内に残してまいりたいと考えております。

本日、私の知り合いから連絡があり、氷川神社の氏子会の集まりでまちづくり会館を売却したお金で大井会館を直してくれないかという話でした。建築のコストが上がっていますが、解体のコストも上がっています。民間で解体したほうが安くできると思いますが、土地の価格から解体費を差し引くといくらも残らないのではないかと思います。

モニュメントはもちろんでございますが、効果的に活用させていただきたいと思います。